



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年8月14日

上場会社名 株式会社エムアップ 上場取引所 東  
コード番号 3661 URL <http://www.m-up.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 美藤 宏一郎  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総務経理部長 (氏名) 藤池 季樹 TEL (03)5467-7125  
四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日 配当支払開始予定日 平成25年6月29日  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

百万円未満切捨て

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	787	—	141	—	141	—	90	—
24年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 89百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 ー百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	27.67	26.45
24年3月期第1四半期	—	—

(注) 1. 当第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

2. 当社は、平成24年8月1日付で、株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	1,941	1,167	60.1	358.49
24年3月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 1,167百万円 24年3月期 ー百万円

(注) 1. 当第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年3月期の数値については記載していません。

2. 当社は、平成24年8月1日付で、株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	27.50	27.50

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2. 当社は、平成24年8月1日付で、株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,700	—	500	—	500	—	300	—	92.27

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、増減率については記載していません。

第2四半期(累計)期間の業績予想については、業績管理を年次のみで行っているため、記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有  
 新規 1社 （社名）株式会社エムアップA E、除外 1社 （社名）－  
 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」  
 をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	3,255,800株	24年3月期	3,251,600株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	－株	24年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	3,253,030株	24年3月期1Q	3,144,000株

（注）平成24年8月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っています。上記の株式数は、前事業年度の期首に株式分割が行われたと仮定して株式数を算出しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・平成24年8月1日付で普通株式1株を2株にする株式分割を行っております。そのため、平成25年3月期第1四半期の1株当たり四半期純利益、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び期中平均株式数については、当該株式分割が当期首に行われたと仮定した数値を表示しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 1株当たり情報 .....	10
(7) 重要な後発事象 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、企業収益に復興需要を背景とした持ち直しの動きが見られ、個人消費も緩やかに増加するなど、回復の兆しが見られるものの、依然として厳しい状況にあります。また、電力供給の制約やデフレの影響、海外景気の下振れ懸念など、景気を下押しするリスクが存在し、先行きはなお不透明な状況にあります。

一方、当社を取り巻くインターネット関連市場につきましては、従来からの携帯電話端末やPC端末を通じたインターネット利用に加え、スマートフォンやタブレット端末の利用拡大、高速モバイル通信の普及等に伴いインターネットの利用環境の整備が進んでおり、今後も安定的に成長、拡大を続けることが期待されております。

携帯電話加入台数は、平成24年6月末現在で1億2,577万台（前年同月比3.7%増）となり、人口普及率も100%を超えるなど市場は成熟期を迎えております（出所：社団法人電気通信事業者協会）。一方で、平成23年度におけるスマートフォンの出荷台数は、携帯電話端末の総出荷台数のうち、56.6%を占めるに至り、モバイル分野におけるインターネット市場は再活性化しております（出所：株式会社MM総研）。

モバイルコンテンツ市場に関しては、平成23年におけるフィーチャーフォン向けコンテンツ市場の規模が6,539億円（前年比1.1%増）となり、携帯電話端末の高い普及率を背景として緩やかながらも拡大基調が継続しております。それに加えて、スマートフォン向けのコンテンツ市場規模は806億円と急拡大しており、今後については、スマートフォン向けコンテンツを軸とした更なる拡大が見込まれております。（出所：総務省「モバイルコンテンツの産業構造実態に関する調査結果」）。

また、インターネット利用環境の向上や、端末の多様化に伴うインターネット利用機会の増加によって、eコマースを利用する消費者の裾野は広がりを見せております。平成23年におけるモバイルコマースの市場規模は11,716億円（前年同期比16.2%増）であり、その中でも当社が事業展開する物販系コマースの市場規模は5,839億円（前年同期比32.9%増）と拡大の幅は大きく、より一層の定着が進んでおります（出所：総務省「モバイルコンテンツの産業構造実態に関する調査結果」）。

このような外部環境の中、当社は、有料会員数の増加とそれによる収益基盤の拡大を図るべく、引き続き新規アーティスト等の獲得とファンクラブサイトの開設に注力してまいりました。普及が進むスマートフォンへ向けた取り組みといたしましては、これまでフィーチャーフォン向けに運営してきた公式サイトスマートフォン化を早期に完了すべく、その対応を推進してまいりました。

加えて、平成23年10月より開始した携帯及びPCコンテンツ配信事業でファンクラブサイトを展開するアーティストを中心としたCD、DVD及びブルーレイといった音楽映像商品等の直販事業につきましても、取り扱うアーティストや商品の拡大に努め、ファンクラブサイトを軸とし、ファンとアーティスト等をより有機的に繋ぎ合わせることによって、事業間でのシナジーを効果的に発揮させことのできる事業体制の構築を進めてまいりました。

また、平成24年5月には、スケールメリットを生かした事業運営によって、収益の最大化と事業の効率化を図ること等を目的とし、株式会社エムアップAE（旧商号：株式会社アドウェイズ・エンタテインメント）を子会社化いたしました。これにより、当社はファンクラブサイト運営の最大手となり、これまで当社が手掛けていなかった韓流分野へも進出するなど、事業領域の拡大を図ってまいりました。なお、株式会社エムアップAEの連結業績への反映は、平成25年3月期第2四半期からとなります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は787百万円、営業利益は141百万円、経常利益は141百万円、四半期純利益は90百万円となりました。

セグメントごとの概要は、以下のとおりであります。

#### ①携帯コンテンツ配信事業

携帯コンテンツ配信事業につきましては、新規アーティスト等の獲得と公式サイト開設を進め、NMB48やなでしこリーグなど、新たに4アーティスト等のファンクラブサイトを、キャリア公式サイトとして開設いたしました。従来からのフィーチャーフォン向け公式サイトにおいては、スマートフォンの急速な普及に伴い、音楽コンテンツやデコメ等のエンタテインメント系コンテンツ配信サイトを中心に会員数の減少傾向が見られることから、コンサートチケットの優先予約やプレゼント企画といった会員のサイト継続利用期間の長期化や退会防止のための施策を講じてまいりました。また、メール素材等の配信コンテンツやシステムの内製化を進め、収益性の向上にも努めてまいりました。

スマートフォンへの取り組みとしては、スマートフォンへの移行による業績への影響が大きい、ファンクラブサイトや会員数の多い主力サイトから先行的に、スマートフォン対応を進めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における携帯コンテンツ配信事業の売上高は547百万円、セグメント利益は192百万円となりました。

#### ②PCコンテンツ配信事業

当第1四半期連結累計期間におきましては、アーティスト及びタレント等の有料ファンクラブサイトについて、パッケージ商品やコンサートチケットの先行販売などを実施し、会員の維持、拡大を推進してまいりました。また、アーティストだけではなくスポーツ選手などのオフィシャルサイトの受託制作など、他の事業セグメントも含め、将来の新たな収益の獲得と拡大に繋がることを見据えた事業展開を行ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるPCコンテンツ配信事業の売上高は57百万円、セグメント利益は7百万円となりました。

#### ③eコマース事業

eコマース事業につきましては、平成23年10月より本格的な事業展開を開始した、CD、DVD及びブルーレイの音楽映像商品等のインターネットを通じた直販事業販売が引き続き堅調に推移いたしました。サイト限定での商品販売によって利用の促進を図るとともに、ファンクラブサイトを運営するアーティスト以外の商品販売も行うなど取り扱うアーティストや商品数を拡大させ、取扱高の増加にも注力してまいりました。

アパレル商品のeコマースにつきましては、アパレルブランドのオフィシャルショップの開設や、アパレルブランドとアーティストとのコラボレーション商品の企画や取り扱いなど、在庫リスクの発生しない当社の受託による商品販売を展開してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるeコマース事業の売上高は182百万円、セグメント利益は17百万円となりました。

(注) 当社は、当第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期比較については記載しておりません。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は1,941百万円となりました。

主な内訳は、現金及び預金402百万円、売掛金797百万円、商品139百万円、のれん104百万円であります。

#### (負債の部)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は774百万円となりました。

主な内訳は、買掛金550百万円であります。

#### (純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は1,167百万円となりました。

主な内訳は、資本金170百万円、資本剰余金196百万円、利益剰余金801百万円であります。

(注) 当社は、当第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期比較については記載しておりません。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後における我が国の経済は、緩やかながらも回復が続くと期待されるものの、雇用情勢の悪化や海外景気の下振れが懸念され、加えて電力供給の制約などにより、景気を下押しするリスクが存在し、先行きはなお不透明な状況にあります。

一方で、当社の属するインターネット関連市場につきましては、スマートフォンが急速に普及し市場が再活性化しております。また、従来からの携帯電話端末向けコンテンツ配信もスマートフォンへの移行が本格化するなど、市場は転換点を向かえております。そのため、スマートフォンの普及による、従来からのフィーチャーフォン向け公式サイトに対する影響の測定は困難な側面もあります。

こうした事業環境の中、当社は技術動向の影響を受けにくいファンクラブサイトを中心とした新規公式サイト開設とそれに伴う新規有料会員の獲得を推進しております。また、ファンクラブサイトを運営するアーティスト等のCD、DVD及びブルーレイといった音楽映像商品の取り扱いに引き続き注力し、販売は堅調に拡大しております。費用面では、販売の拡大に比例し増加するロイヤリティ等や、採用の強化に伴う人材関連費用の増加を見込んでおります。

この結果、平成25年3月期の業績予想として、売上高3,700百万円、営業利益500百万円、経常利益500百万円、当期純利益300百万円を予想しております。

しかしながら、平成24年5月に子会社化した株式会社エムアップAEにつきましては、当社グループに加わり、当社が蓄積するサイト運営ノウハウを活用した事業を展開していく方針であり、それによる業績へ影響額を現在精査中であります。加えて、音楽映像商品につきましては、レコード会社における年度後半のリリース予定が確定し次第、当社の業績見通しも見直すことを予定しております。

そのため、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報、及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、株式会社エムアップAEの株式を取得し同社を子会社としたため、連結の範囲に含めております。

## (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## (減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

当該会計方針の変更による、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間  
 (平成24年6月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	402,416
売掛金	797,104
商品	139,548
繰延税金資産	44,843
その他	145,014
貸倒引当金	△5,340
流動資産合計	1,523,586
固定資産	
有形固定資産	48,897
無形固定資産	
のれん	104,219
その他	66,548
無形固定資産合計	170,768
投資その他の資産	
長期貸付金	158,000
繰延税金資産	20,313
その他	70,305
貸倒引当金	△50,000
投資その他の資産合計	198,619
固定資産合計	418,284
資産合計	1,941,871
負債の部	
流動負債	
買掛金	550,089
未払法人税等	34,817
賞与引当金	12,082
役員賞与引当金	7,500
その他	156,978
流動負債合計	761,468
固定負債	
資産除去債務	11,565
その他	1,682
固定負債合計	13,248
負債合計	774,716

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間  
(平成24年6月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	170,221
資本剰余金	196,488
利益剰余金	801,379
株主資本合計	1,168,089
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△934
その他の包括利益累計額合計	△934
純資産合計	1,167,155
負債純資産合計	1,941,871



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	787,475
売上原価	491,201
売上総利益	296,274
販売費及び一般管理費	155,109
営業利益	141,165
営業外収益	
受取利息	1,590
その他	144
営業外収益合計	1,735
営業外費用	
為替差損	1,510
営業外費用合計	1,510
経常利益	141,390
税金等調整前四半期純利益	141,390
法人税、住民税及び事業税	28,643
法人税等調整額	22,721
法人税等合計	51,365
少数株主損益調整前四半期純利益	90,024
四半期純利益	90,024

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	90,024
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△649
その他の包括利益合計	△649
四半期包括利益	89,374
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	89,374

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	携帯 コンテンツ 配信事業	PC コンテンツ 配信事業	eコマース 事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	547,405	57,871	182,198	787,475	—	787,475
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	547,405	57,871	182,198	787,475	—	787,475
セグメント利益	192,623	7,486	17,065	217,175	△76,009	141,165

(注) 1. セグメント利益の調整額△76,009千円は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「携帯コンテンツ配信事業」セグメントにおいて、株式会社エムアップA Eの全株式を取得し連結子会社といたしました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間において104,219千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## (6) 1株当たり情報

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	55円34銭
(算定上の基礎)	
四半期純利益金額(千円)	90,024
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	90,024
普通株式の期中平均株式数(株)	1,626,515
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	52円90銭
(算定上の基礎)	
四半期純利益調整額(千円)	—
普通株式増加数(株)	75,308
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	—

(注) 当社は、平成24年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。当該株式分割が当連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合における当第1四半期連結累計期間に係る1株当たり四半期純利益金額は27円67銭、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は26円45銭であります。

## (7) 重要な後発事象

当社は、平成24年8月1日付で、株式分割を下記のとおり実施いたしました。

## 1. 株式分割の目的

株式分割により、投資単位当たりの金額を引き下げ当社株式の流動性を高め、投資家層の拡大を図ることを目的としております。

## 2. 株式分割の概要

## (1) 分割方法

平成24年7月31日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有株式を、普通株式1株につき2株の割合をもって分割いたしました。

## (2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式数 1,627,900株

株式分割により増加する株式数 1,627,900株

株式分割後の当社発行済株式数 3,255,800株

## 3. 株式分割の日程

株式分割基準日 平成24年7月31日

効力発生日 平成24年8月1日

なお、これによる影響については「1株当たり情報」に記載しております。

(注) 当社は、当第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の記載はしていません。